

冬の感染症に注意！消毒を徹底しましょう！

中丹家畜衛生情報（No.29-27） 平成29年12月発行

本格的な冬が到来し、寒暖の変化など牛に強いストレスがかかるため、牛呼吸器病症候群(BRDC)や牛コロナウイルス病などが流行しやすい時期となりました。

ウイルスの侵入を防ぐため、消毒を徹底しましょう！

・BRDCとは？

ウイルス(IBR・RS・PI3・BVD・Ad7など)やマイコプラズマ、細菌(マブミア・ヘリコバなど)などの

複合感染により、肺炎症状が重篤化する呼吸器疾患です。

重篤化すると経済的損失が非常に大きいため予防対策が重要です。



・牛コロナウイルス病とは？

主に糞便中のウイルスをエサ等と一緒に、経口摂取して感染します。

子牛の下痢の原因であるとともに、成牛でも水様性下痢を引き起こします。

発熱のほか鼻汁、発咳など呼吸器症状を呈する場合があります。

短期間で牛群に感染が拡大し経済的損失が生じます。

・予防対策～出入り口でウイルスを遮断しましょう～

農場専用衣服に着替え、長靴を洗浄、消毒しましょう！

牛舎出入口には踏込消毒槽を設置、消毒液は頻回交換しましょう！

農場内への人や車両の進入を制限し、車両を消毒しましょう！

